

## 岩ネット(日和田山)

平成25年2月23日(土) 8名参加

久しぶりに岩ネットに参加した。いつものように高麗駅9時集合と県連HPにあったが、誰も知った顔はなく、一人日和田山に向かう。後で聞いたら、現地に9時集合！と言われた???というわけですので皆さんは岩に取り付いている。

この日は不思議なくらい人出が少なく、マイグレンデ状態で、男岩南面は岩ネットのザイルが2本下がったのみ...という午前中でした。数回日和田山にきているけれどこんなことは初めてで、ゆったりとチャレンジできるような感じで良かった。他に3パーティ(西面で練習)、女岩には講習会らしきパーティの声が響いていたが。

冬の岩登りは体も縮こまるが、ともかく岩が冷たい。私はゆっくりしか登れないので、岩に触れる手が痛いというか感覚がなくなる。途中で手に息を吹きかけたり、揉んだり...でも気休めにしかない。それでも進まなくては!!ある方は岩が冷たいからとハイスピードで登っていたが...うらやましい限りである。

久しぶりだったので、ザイルワークもおぼつかず、また久しぶりのビレーに緊張し、すぐ隣で熟練の方にザイルを一緒に持ってもらう。こんな状態の私に命を預けてくれた方に感謝。私以上に緊張されていたのではないかと思う。「ビレーヤーはともかくがパートナーが安心して登れるようにしなければならぬので相手が不安になるような声を途中で上げないように」と指導。私は無意識に「あっ」とか[うわっ]とかパートナーの動作を見ながら声を挙げているらしい。



今回初めて登山靴でチャレンジ。登山靴で岩を登るというイメージが初心者の私には全くできなかったが、冬靴のコバで岩につま先を置く。底がしっかりしているからだろうか、思ったほどすべることなく結構岩にしっかり乗ることが出たように感じた。また初めてアイゼンを付けて挑戦。「前の二本歯で岩に乗り体を支える、音をたてないように登る、アイゼンの裏を見せないように足を置く??」と教えて頂く。要は「足はいつも地面に対して平行に置くということ」で理解し、挑戦。2メートル位の登ったところで、ふくらはぎが早くもパンパンに！！これからどうなるのかと不安になりながら登った。とにかく足の置き場を確認し、亀のようなゆっくりとした登りで、アイゼンの歯が岩にしっかりとっているのか一つ一つ確認しながら登った。歯と岩ががっちり合っていると本当に安定感があるのを実感でき、気持ちよかった。下りはクライムダウンで降りる。「腰を落として足を出すこと、体を岩から離し、足の置き場を確認しながら、降りる」と教えてもらう。手は借りた手袋で寒さは逃れられた。

本日はクライミングシューズ、登山靴、アイゼン装着等いろんなスタイルでチャレンジすることができ、とても充実した一日となった。「男岩の頂上はポカポカと気持ちよかったよ！！」と講師陣の方の声、なかなかそこまで辿りつけることなく、また「本チャン」と言われる道のりは遠い私のクライミングである。さあ練習練習！！

